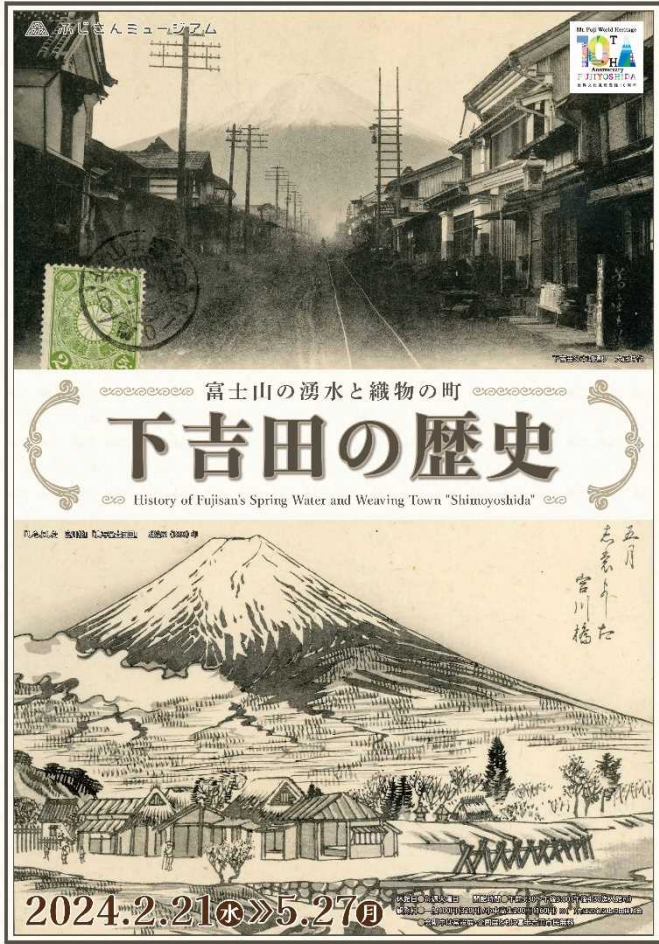


件 名	ふじさんミュージアム企画展 富士山の湧水と織物の町 下吉田の歴史	問合せ	歴史文化課 ☎24-2411
内 容			
ふじさんミュージアムで企画展を開催します。 	江戸時代、郡内（都留郡）最大の町として発展を遂げたのが下吉田です。縄文時代から人々が住み始めた下吉田は、数多くの場所から富士山の湧水が流れ出てくる水の町でもありました。縄文時代までは山裾に住んでいた人々は、平安時代になるとこれらの湧水が多くある平地に集落を営むようになり、江戸時代以降は、桂川から直接水を引くことで、現在も本市の中心部である本町通りの町並を開発していきます。また、染色や織機の動力として豊富な水が欠かせない織物が盛んになり、現在に続く織物の町「下吉田」が成立します。 本展では、下吉田に伝来してきた古文書・絵図・写真を通して、下吉田の歴史を紹介します。 日時■2月21日（水）～5月27日（月） 午前9時30分～午後5時 ※入館：午後4時30分まで 場所■ふじさんミュージアム企画展示室 休館日■火曜日 観覧料■一般 400 円、小中高生 200 円 ※会期中は常設展・企画展ともに市民無料		